【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和4年8月4日(2022.8.4)

【公開番号】特開2021-98773(P2021-98773A)
【公開日】令和3年7月1日(2021.7.1)
【年通号数】公開・登録公報2021-029
【出願番号】特願2019-230232(P2019-230232)
【国際特許分類】
*Ｃ０９Ｄ 11/101(2014.01)*
*Ｂ４１Ｍ 1/30(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 11/101
Ｂ４１Ｍ 1/30 Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月27日(2022.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（ａ）親水性基を有する樹脂、（ｂ）親水性基を有する多官能（メタ）アクリレート、および（ｃ）炭素数８以上１８以下の鎖状脂肪族骨格を有する２官能（メタ）アクリレートを有し、（ｃ）炭素数８以上１８以下の鎖状脂肪族骨格を有する２官能（メタ）アクリレートの含有量が、前記（ｂ）親水性基を有する多官能（メタ）アクリレート全量１．００質量部に対して、０．０２質量部以上０．３０質量部以下である、活性エネルギー線硬化型平版印刷用インキ。
【請求項２】
前記（ｃ）炭素数８以上１８以下の鎖状脂肪族骨格を有する２官能（メタ）アクリレートの含有量が、前記（ａ）親水性基を有する樹脂全量を１．００質量部に対して、０．１０質量部以上０．６０質量部以下である、請求項１に記載の活性エネルギー線硬化型平版印刷用インキ。
【請求項３】
請求項１または２に記載の活性エネルギー線硬化型平版印刷用インキを基材上に塗布する工程、および、該インキに活性エネルギー線を照射する工程を含む印刷物の製造方法。
【請求項４】
前記基材がプラスチックフィルム、プラスチックフィルムラミネート紙、金属、金属蒸着紙、および金属蒸着プラスチックフィルムからなる群から選ばれる少なくとも１つを含む請求項３に記載の印刷物の製造方法。
【請求項５】
前記基材の印刷面側の表面の窒素元素濃度が０．５原子％以上１０．０原子％以下である、請求項３または４に記載の印刷物の製造方法。
【請求項６】
前記基材の印刷面側の表面に、アミン類、アミド類、イソシアネート類およびウレタン類から選ばれる少なくとも１種類の化合物を含有する層が存在する、請求項３～５のいずれかに記載の印刷物の製造方法。
【請求項７】

前記活性エネルギー線が、電子線、またはＬＥＤ－ＵＶである、請求項３～６のいずれかに記載の印刷物の製造方法。